

今月の話題

「広場の新しい住人～アズキガイ～」

さて、ここのところ毎回のように入場する外来生物の話です。ただし、今回は外国から来た生き物ではなく、もともと日本には生息していたものの、葛葉緑地にはいなかった、国内移入種の話になります。

10月15日、いつものようにメールニュースの原稿を書くため、くすのき広場のウッドチップで舗装された観察路の上をネタを探して歩いていました。すると、長径1cmほどのずんぐりした貝殻がたくさん落ちていることに気が付きました。陸生貝類（カタツムリやキセルガイの仲間）の貝殻のようでしたが、今までに見たことのないものでした。20個ほど拾い事務室に持ち帰りましたが、いずれも貝殻のみの死貝ばかりで、生きた軟体部が入っているものは一つもありませんでした。最初はキセルガイの仲間かと思いましたが、殻口部の構造がキセルガイとは違っていたので、他の特徴を検索すると、本来ならば中部地方（長野県辺り）より西に分布するはずのアズキガイではないかと結論づけました。神奈川県も含め関東地方には本来分布していない貝ですが、近年、東京都や埼玉県、神奈川県でも発見されています。また、横浜市の金沢動物園、相模川ふれあい科学館などでは飼育展示されているようです。アズキガイというように生きているうちは、その殻は小豆（あずき）色をしています。しかし、死ぬと小豆色は失われ、白っぽくなってしまいます。現在観



アズキガイ



察路上にはこの白い殻ばかりが落ちています。その後、10月25日環境共生課の吉門靖徳氏により、生きた状態の黒い軟体部を持つアズキガイが発見されています。この貝はタニシやカワニナと同じニナ目の貝で、蓋を持っています。ちなみによく見かける陸生貝類のカタツムリは、マイマイ目であり蓋を持っていません。また、カタツムリの目は大小4本ある触角のうち、大触角の先端に付いていますが、ニナ目のアズキガイは2本の触角の付け根に黒い小さな目がちょこんと付いています。

それにしても、このアズキガイはどのようにして葛葉緑地にやってきたのでしょうか？現在のところ、アズキガイはウッドチップ舗装の観察路上およびその周辺からしか見つからないのでこの舗装に使ったウッドチップに原因があるのかもしれませんが。

竹箒に付いて中国からくずはの広場にやってきたムネアカハラビロカマキリや、今度はウッドチップとともにやってきたと思われるアズキガイなど、人の活動に伴って起こる意図しない移動にも、今後は十分な注意が必要だと思います。

文：くずはの広場所長 高橋孝洋

***** 行事報告 10/25(土)・26日(日) 秋のつどいを開催しました。雨の中、ご来場ありがとうございました！



けん玉であそぼう



作ってあそぼう昆虫工作

観覧スコーナ
ーオーナメント作り

クラフト広場

秋のつどい25日「みんなであそぼう」(70人)

参加者の声 ・ふだんの生活でドングリや森のものを触ることができないので良い経験ができました。(大人)
・楽しい体験がたくさんあってわくわくしました。雨の中の自然もいつもと違う感じがして楽しかったです。(大人)

秋のつどい26日「みんなで作ろう」(96人)

参加者の声 ・クラフト広場で楽しく作品を作らせていただきました。沢山の素材を用意してくださりありがとうございました。むちゅうで作りました。(大人)
・もりりと会えてよかったです。(子ども)

くずはの家 行事案内

※小学2年生以下は保護者同伴

日 時	テーマ・講 師	対象・定員	受付開始
11月22日(土) 9:30～11:30	「冬越しの虫を探そう ～朽ち木を割ってみよう」 えのきの会昆虫分科会・くずはの広場職員	小学生以上30名	11月1日 残りわずか
11月29日(土) ① 9:30～12:00 ② 13:30～16:00	自然素材のクリスマスリース作り 講師：石井ふさ枝氏 協力：ボランティアの会	一般 各回20名 (費用：700円) ※初参加の方優先	11月1日 残りわずか
12月6日(土) 10:00～11:30	ちびっこあつまれ！ ～クリスマス飾りづくり～ くずはの広場職員・ボランティアの会	3～6歳の幼児と その保護者20名	11月15日
12月13日(土) 9:30～11:30	落ち葉の中でスラックライン えのきの会自然遊び分科会・くずはの広場職員	小学生以上20名 (保険代1人50円)	12月2日

今年も ミニリースキット 販売します！
11月29日(土)～12月25日(木)
ミニリースキットを200円で販売します。お部屋で作っていくこともできますよ！おひとり様お一つ、先着100名までとなっております。なくなり次第、終了とさせていただきます。お早目にお越しください。



10/12(日)ちびっこあつまれ！どんぐりであそぼう(10人)

参加者の声 ・普段なかなか触れることのできない自然やどんぐりに触れて楽しい時間でした。子どももどんぐりの競争などとても楽しそうでした。(大人)
・どんぐりレースがたのしかった(子ども)

行事へのお申し込み・お問い合わせは

電話・FAX・メールで

TEL & FAX 0463(84)7874

E-mail: kuzuhaie@city.hadano.kanagawa.jp

11月の休館日

4日、5日、10日、17日、25日、26日

12月の休館日

1日、8日、15日、22日、

29～31日

くずはの家HPはこちらから→

ホームページ

メールアドレス



秦野ガス・ネイチャーパークくずは

くずはの家のボランティア活動

10月、11月初めの活動

定例会：10月は、秋のつどいやクリスマスリースの準備、クラフト材料やおまけの準備、広場の整備などで大活躍。さらに駐車場で倒木があり、その撤去作業なども行いました。秋のつどい「みんなで作ろう」本番は、雨の中でも多くのお客様にご来館いただき嬉しかったです。ご案内や作成指導などをがんばりました！

11月3日(月)・祝
市民の日にも出店
し用意したミニ
リースはお昼には
完売しました。



花壇の会：10/3(金)は、枯れた草花を整理しました。今年初めて実ったサルナシを試食、まだちょっと酸っぱかったです。
とんぼのせせらぎ：10/23(木)は、アカタテハなど色々な虫が集まるカラムシを、シカの食害から守るためのネットを張りました。

☆これからの活動

定例会：11/20(木)、12/7(日)、12/18(木)

花壇の会：12/5(金)

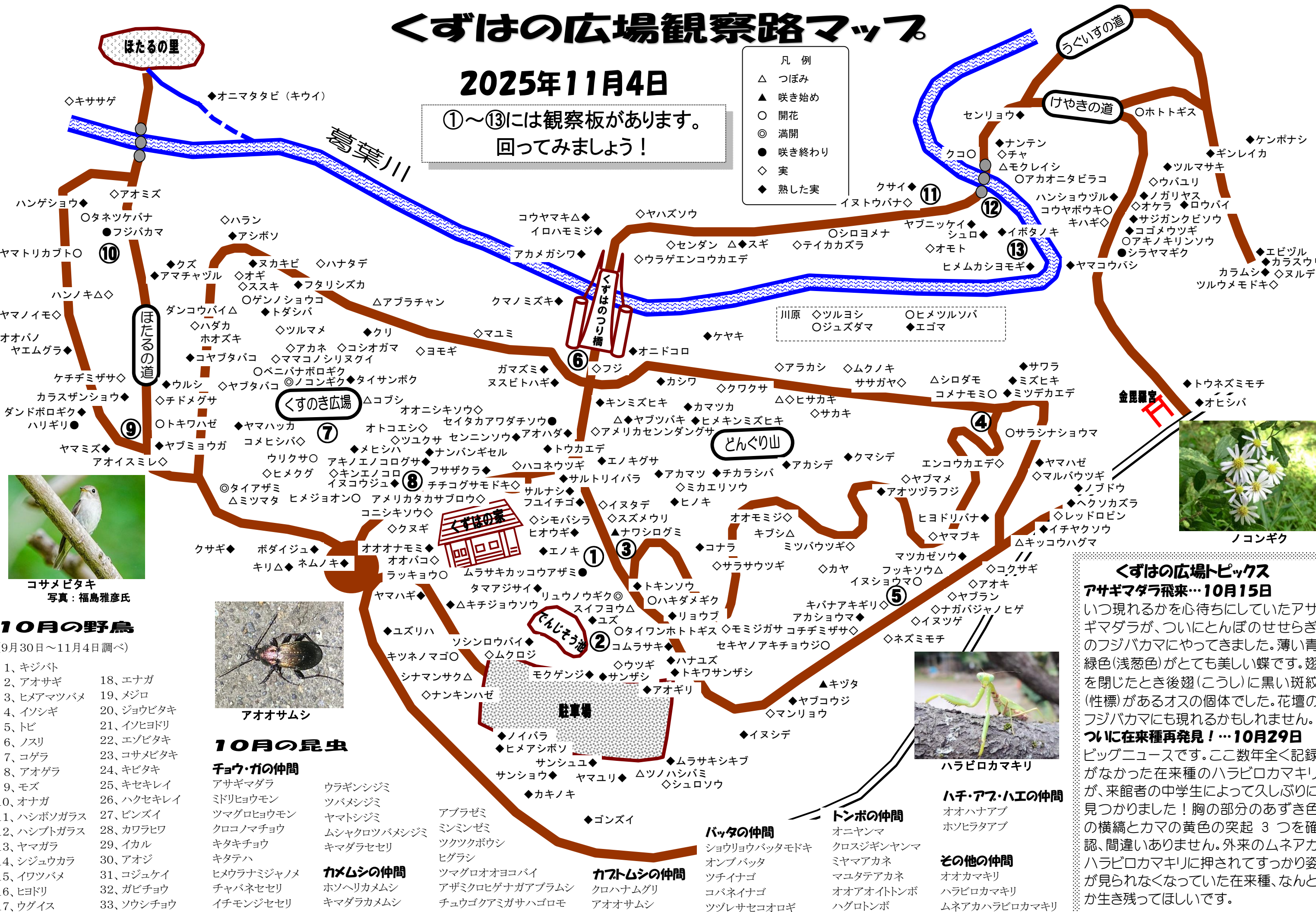
とんぼのせせらぎ：11/27(木)、12/25(木)

くずはの広場観察路マップ

2025年11月4日

①～⑬には観察板があります。
回ってみましょう！

凡 例	
△	つぼみ
▲	咲き始め
○	開花
◎	満開
●	咲き終わり
◇	実
◆	熟した実



コサメビタキ
写真：福島雅彦氏

10月の野鳥

(9月30日～11月4日調べ)

- | | |
|------------|-----------|
| 1、キジバト | 18、エナガ |
| 2、アオサギ | 19、メジロ |
| 3、ヒメアマツバメ | 20、ジョウビタキ |
| 4、イソシギ | 21、イソヒヨドリ |
| 5、トビ | 22、エゾビタキ |
| 6、ノスリ | 23、コサメビタキ |
| 7、コゲラ | 24、キビタキ |
| 8、アオゲラ | 25、キセキレイ |
| 9、モズ | 26、ハクセキレイ |
| 10、オナガ | 27、ビンズイ |
| 11、ハシボソガラス | 28、カワラヒワ |
| 12、ハシブトガラス | 29、イカル |
| 13、ヤマガラ | 30、アオジ |
| 14、シジュウカラ | 31、コジュケイ |
| 15、イワツバメ | 32、ガビチョウ |
| 16、ヒヨドリ | 33、ソウチョウ |
| 17、ウグイス | |



アオオサムシ

10月の昆虫

チョウ・ガの仲間

アサギマダラ
ミドリヒョウモン
ツマグロヒョウモン
クロノマチョウ
キタキチョウ
キタテハ
ヒメウラナミジャノメ
チャバネセセリ
イチモンジセセリ

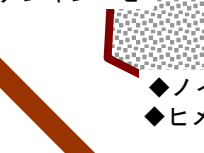
ウラギンシジミ
ツバメシジミ
ヤマトシジミ
ムシクロツバメシジミ
キマダラセセリ

カメムシの仲間

ホソヘリカメムシ
キマダラカメムシ



でんじろう



でんじろう

アブラゼミ
ミンミンゼミ
ツクツクボウシ
ヒグラシ
ツマグロオオヨコバイ
アザミクロヒゲナガアブラムシ
チュウゴクアミガサハゴロモ

カブトムシの仲間

クロハナムグリ
アオオサムシ

バッタの仲間

ショウリョウバッタモドキ
オンブバッタ
ツチイナゴ
コバネイナゴ
ツツレサセコオロギ

トンボの仲間

オニヤンマ
クロスジギンヤンマ
ミヤマアカネ
マユタテアカネ
オオアイトトンボ
ハグロトンボ



ハラビロカマキリ

ハチ・アブ・ハエの仲間

オオハナアブ
ホソヒラタアブ

その他の仲間

オオカマキリ
ハラビロカマキリ
ムネアカハラビロカマキリ



ノコンギク

くずはの広場トピックス

アサギマダラ飛来…10月15日

いつ現れるかを心待ちにしていたアサギマダラが、ついにとんぼのせせらぎのフジバカマにやってきました。薄い青緑色(浅葱色)がとても美しい蝶です。翅を閉じたとき後翅(こうし)に黒い斑紋(性標)があるオスの個体でした。花壇のフジバカマにも現れるかもしれません。

ついに在来種再発見！…10月29日

ビッグニュースです。ここ数年全く記録がなかった在来種のハラビロカマキリが、来館者の中学生によって久しぶりに見つかりました！胸の部分のあずき色の横縞とカマの黄色の突起 3 つを確認、間違いありません。外来のムネアカハラビロカマキリに押されてすっかり姿が見られなくなっていた在来種、なんとか生き残ってほしいです。